

京都市動物園



京都市動物園は、市民の寄付金と市費によって明治 36 (1903) 年 4 月に開園した全国で 2 番目の歴史ある動物園であり、市民の手によって創設された我が国で初めての動物園です。

平成 20 (2008) 年 4 月には、京都大学との間で「野生動物の保全に関する教育及び研究の連携に関する協定書」を締結し、この協定に基づいて、動物園に常駐する大学教員が動物園の職員と協働して、動物が持つ様々な魅力を引き出す施設の整備や、動物の知性の研究等を進めています。

明治 40 年の門前風景



チンパンジーの学習の様子を観覧

また、これらの研究から得られた情報やフィールドワーク等の最先端の研究成果や、保全活動の状況等についての情報発信にも取り組んでいます。連携 3 周年として「野生動物学のすすめ」を今年は 3 月 19 日から 21 日の 3 日間開催しています。3 日目は本シンポジウムの企画と一部重複しますが、19 日には「ゲノム実習」(ペンギン・ヤブイヌの性別判定)、20 日には「チンパンジーの勉強体験」と体験型のプログラムなどを実施しています。

また、平成 21 (2009) 年 11 月に策定いたしました共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき、平成 22 (2010) 年度からは、大規模な施設の整備工事が始まりました。本年春には、最初の施設として、「おとぎの国」が従来の 2.5 倍の広さで装いも新たにオープンします。「いのちの尊さ、いのちのつながり」をテーマに動物とのふれあい体験を通じて、「いのち」を実感していただける施設を目指します。

新おとぎの国完成イメージ



次いで、旧「オランウータン舎」周辺では、ライオン、アムールトラ、ジャガーを飼育・展示し、新たに我が国の固有種であり絶滅の恐れのあるツシマヤマネコを飼育・展示する「ネコワールド」(仮称)、さらには、旧「おとぎの国」周辺では、アフリカの大型草食獣等を飼育・展示する「アフリカの草原」の整備工事が始まります。

京都市動物園は都心から近くて交通の便が良く、動物がお客様に近い、動物たちが幸福に楽しく暮らし、その姿を見るお客様も楽しい動物園、「近くて楽しい動物園」の実現を目指してまいります。

開園しながらの整備となり、工事期間中はお客様には何かと御不便をおかけしますが、御理解賜りますようお願い申し上げますとともに、多くの皆様の御来園を職員一同心からお待ちいたしております。

共汗でつくる新「京都市動物園構想」 近くて楽しい動物園



キリンのミライは子育て上手??

京都市動物園 高木直子

今、キリンのミライは妊娠中です。みなさんにこのお話をしている日にはきっとかわいい赤ちゃんが生まれていることでしょう。

ミライは今回の出産が3回目のベテランの母親です。今まで2頭の子育てを見てきましたが、1頭目と2頭目では育て方が少し違っていました。1頭目のオス(リュウオウ)は生まれた時からがっちりとしていておっぱいをしっかり飲んでいたので、2頭目のメス(オトワ)はちょっとか細くておっぱいあまり飲みませんでした。そんなオトワに対して、ミライは何度も何度もおっぱいを飲むように促していました。

2回の子育ての様子をビデオで観察し、授乳時のミライの行動と時間や回数を調べてみると、おっぱいの飲ませ方に違いがあったのは子に対する愛情というよりは、おっぱいの張り具合のような母親側の都合ではないかと思うようになりました。ミライはとっても子育てが上手だなあと考えていたのは、人間の感情の入った見方だったのかもしれない。

母が子を愛し、子が母を慕うという行動が当たり前だと思いませんか？これは、ヒトが持っている素晴らしい習性なのかもしれません。他の動物の行動から、ヒトの素晴らしさがわかることが多々あります。動物園はそれを感じることの出来る場所です。

